


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 坂本建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																									
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念として「お客様への奉仕、信用第一、地域貢献等」を掲げ、社長から社員に対し、日々の朝礼や週1回の社内会議、月1回の全体朝礼で周知、共有するよう努めている。								8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・交通法規を中心に法令遵守を社内に掲示し、必要に応じて関係資料を配布するとともに、毎週社長から社員に法令遵守の重要性を発信するようにしている。																			16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為がないよう日頃、社長から社員に周知しているが、仮に何かあった場合は、現場責任者から社長に報告が上がり会社として適切に対応するようにしている。										10									16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・現場担当から世話役、そして現場監督、工事部長、そして専務、社長の流れで組織的に業務を進めるようにしている。特に事業に伴い騒音や粉塵等が発生しがちであるが、クレーン等には工事部長、社長が適切に対応するようにしている。																			16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・施工計画書作成や書類管理など長年会社で培った独自のノウハウや、他社から預かった特許、ノウハウなどの機密情報等については、日頃から社長から社員に対しその重要性を周知するようにしている。								8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については、持ち出し禁止とし、総務担当責任者が一括管理するようにしている。																			16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・元請業者、同業他社、顧客、行政等に対し、社長が折に触れて直接訪問したり、あるいは関係者が来社するなど、努めて相互に意見交換の場を設けるようにしている。																		16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・建設資材の購入等に当たってはサプライチェーンを意識して信頼できる業者から購入に努めている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11			13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・日頃の業務を通じて円滑な事業承継が行なわれるよう検討・対策を行っている。									8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2													17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別の禁止については、就業規則に規定するとともに、社長自ら差別禁止の講習会等に積極的に参加するようにしている。また、何か問題があれば社長が相談窓口となって対応している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務中の事故等を防ぐため、現場事務所においては熱中症対策のため飲料水の提供、空調の完備、こまめな休憩時間の確保など配慮している。また、労働安全衛生に係る講習会に社員を派遣するとともに、社内に事故防止啓発の掲示を行っている。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働に対しては同一賃金の原則に沿って対応するようにしている。					5.5				8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・原則、年度末等の繁忙期以外は残業はしないようにしている。また、できるだけ作業工程を工夫し休日出勤が出ないよう配慮している。また、社長から常日頃、有給休暇の取得促進を社員に伝えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・土木、建築関係の資格取得に向けた講習会等に社員を積極的に派遣し、経費等は会社で負担するようにしている。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・会社負担で社員の年1回の健康診断受診を義務付けている。また、人間ドックの受診を社長から社員に奨励している。さらに社内に新鮮で美味しい水をいつでも飲めるようにウォーターサーバーを設置するとともに、感染症予防のためコロナ検査キット等を常備している。			3					8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・多様な人材として女性、高齢者が該当するが、女性専用のトイレを整備したり、業務の機械化を進めることで誰もが活躍できる環境整備に努めている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・テレワークやウェブ会議の導入、現場に直接出勤し現場から直帰する制度を導入したり、会議では窓の開放を励行するなど感染症対策に努めている。また、コロナ対策の検査キットや消毒液を常備している。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ICTやAIを活用した積算、工程管理、測量機器を導入し業務の効率化に努めている。また、パソコン等も常に刷新し社員全員に配布し業務改革に取り組んでいる。									8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●							3	4			8	9			12							

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・建築廃材等を中心に分別を徹底し、専門業者に委託し適切に処理している。			3.9					11.6	12.4		14.1	15.1											
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・日頃から節電に努めるとともに照明はLEDに取り替えた。ガソリン車も4台ハイブリッド車に変更するなどエネルギーの削減に取り組んでいる。 【予定】令和5年2月から県の簡易計算シートを活用しエネルギー使用量を毎月把握しさらなる削減に取り組んでいく。											13												
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・日頃から節電に努めるとともに照明はLEDに取り替えた。ガソリン車も4台ハイブリッド車に変更するなど温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。 【予定】令和5年2月から県の簡易計算シートを活用し温室効果ガスの排出量を毎月把握しさらなる削減に取り組んでいく。			2.4								12.4	13	14	15									
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・河川工事等の際は、自社で汚濁防止シートを購入し活用したり、沈砂池を設け濁水が流出しないよう配慮している。また、現場事務所ではプリンターを設置するなど緑地の創出に努めている。													14	15									
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・再生用紙や裏紙を活用するようにしている。また、コンクリートを砕いた再生クラッシュランをできるだけ活用するようにしている。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15									
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・日頃から節水に努めるとともに、工事現場では夏場の散水等で水道水ではなく河川水を活用するようにしている。			2.4								11.5			14.1 14.2 14.3	15		17						
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・再生用紙を活用するとともに、文具用品等はできるだけリサイクル商品の購入に努めている。							9.4				12.4 12.5	13	14	15									
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	・社長から社内での忘年会や花見等の懇親の場では3010運動(開宴30分間は自席で食事、終宴10分前には自席について食事を食べ終える)を呼びかけている。また、余った食材は持ち帰るなど、食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2										12.3		14	15		17						
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・現場事務所にはプリンターを設置するようにしている。また、社内にも観葉植物を配置するなど緑の創出と管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17						
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・ダンプカーや重機などを省エネタイプで高性能なものに随時転換を図るようにしている。											7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●												6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●												6.1 6.3 6.6				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・エコバックを活用するとともに、コップをプラスチック製から陶器に変更した。また、月1回の道路クリーンボランティアや河川のゴミ拾い活動に参加しプラスチック等の回収に努めている。															12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																	7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.17

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・社内検査等で常に品質確保に取り組んでいる。また、クレーム等があった場合には社長が現場に行き対応するようにしている。	3.9					9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	・社屋の1階は段差を無くしフラットにしている。またウォシュレット便座を導入するなど誰もが利用しやすい環境整備に努めている。						9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●	・建築資材は地元業者を、建築木材は地元森林組合による県産材を活用するようにしている。また、贈答品として地元菊陽町の人参やカライモをできるだけ活用するようにしている。	2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●	・社屋の天井や床、壁等の内装は木材を使用し、木質化を推進している。					7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●									8.2	9.2 9.4	11.a	12.2			14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・自治会等が関係する健康診断、献血の際は会社の駐車場を提供したり、地域の祭事等には積極的に寄付を行っている。また、社員2人が地域の消防団に加入し活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・ハザードマップを社内に掲示し周知を図っている。また、土嚢やポンプ、発電機等を常備し事前防災対策を進めている。				4						11.5		13.1				16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●	・社員2人が地域の消防団に加入し活動している。また、社長も元消防団員であり、何かあれば消防署をサポートし避難の手助けや消火活動の支援を行うようにしている。	1.5			3	4					10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を推進している。	●									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	・【予定】令和5年2月頃、社内でSDGsの研修会を行う。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●	・3年前に1人、昨年1人地域の若者を雇用するなど、若者の県内就職を促進する取組みを行っている。					4.4			8.5 8.6									17
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2			4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15		17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。